

さやまの教育

元気な

さやまっ子



小・中学生英語サマーキャンプ

全国的に英語教育を推進する中、狭山市では、実際に英語を使う場面を体験し、英語によるコミュニケーション能力を高めようと、2泊3日の日程でサマーキャンプを11年前から毎年開催しています。



今年、8月3日(水)～5日(金)に22名の小・中学生が参加して、入間市青少年活動センターで開催。キャンプ中話してよいのは、英語だけという環境で、ALT(語学指導助手)との日常英会話のレッスンやキャンプファイヤーなどで学んだ英語とジェスチャーを使いながら、意思疎通を図りました。最終日には、保護者の前でこのキャンプで学んだ英語を使ったALTとのクイズや寸劇などを堂々と披露することができました。

このキャンプで、一段と英語が大好きになった子ども達は、学校の授業などとおして英語の語学力をさらに向上させていきます。

新狭山げんきっ子

「新狭山げんきっ子」は、新狭山地区の子ども会や青少年育成地域会議などが、工作や昔の遊びなどを通じて子どもの創造力を伸ばし、協調性を育もうと、夏と冬の2回開催している子どもの遊び場です。



8月20日(土)に、新狭山一・三丁目自治会館で開かれた催しには24名が参加しました。大人に教えてもらいながら「あきかんランタン」作りや、けん玉、輪投げなどを元気いっぱい挑戦。夢中になって遊んだあとは、保護者が準備したカレーライスやスイカでお腹を満ち、夏休みの一日を満喫しました。子ども達は、大人とのふれあいなどとおして、一歩ずつ成長していきます。

秋に咲く大輪のバラに期待を寄せて

8月21日(日)／バラ・夏の手入れ教室(都市緑化植物園)

バラの愛好家20人が病害虫防除や剪定方法を学びました。「腕で咲かす」といわれる秋のバラ。参加者は、講師の一言一動に真剣な眼差しを注いでいました。



楽しみながら頭をフル回転!

8月23日(火)～28日(日)／パズる広場(市民交流センター)



60種類以上の知恵の輪や立体パズルを触って遊べるイベント。子ども達は、時間が経つのも忘れるほど夢中になって、難解なパズルに挑戦していました。

27年度さやま市民大学地域ジャーナリスト養成講座
修了生がお届けします

さやま・レポート(子育て⑧)



広瀬児童館では、2～4歳児と保護者を対象とした「チャイルドルーム」や小学生対象の「ゆうゆうクラブ」など、幅広い年齢の子ども達の交流を中心に据えた集いの場を年に5回開催しています。

取材当日は、赤ちゃんを抱っこした母親や友達と連れ立って来館した小学生などで大賑わい。館内では、手形スタンプ作りを楽しむ幼児とボランティアの小・中学生、手作りお化け屋敷やゲームに夢中の子ども達、ホールで食べ物を広げてくつろぐ家族など、子ども達だけでなく保護者同士の交流が広がっていました。

取材当日は、赤ちゃんを抱っこした母親や友達と連れ立って来館した小学生などで大賑わい。館内では、手形スタンプ作りを楽しむ幼児とボランティアの小・中学生、手作りお化け屋敷やゲームに夢中の子ども達、ホールで食べ物を広げてくつろぐ家族など、子ども達だけでなく保護者同士の交流が広がっていました。

10月29日(土)は「ハッピーハロウィン2016」を開催。音楽会やビンゴゲームなどの準備が進んでいます。子ども達は次回を楽しみに、目を輝かせて帰って行きました。

◆問合せ広瀬児童館(広瀬2-2-7) ☎2952-7120
休館日館内清掃日(年3回)と年末年始 駐車場10台

水面に映る優しい光に心が和みます

8月21日(日)／根堀の走馬灯(水富地区)

広瀬浅間神社の火まつりに合わせ、神社のそばを流れる根堀(用水路)沿いに、走馬灯や竹のろうそく、子ども達が作った風車が並びました。浴衣を着た子どもと母親が、はかなげに揺れるろうそくの灯りを見つめ、過ぎ行く夏に想いをはせていました。



水路内には灯籠流しも登場



カラカラ回る風車の音が涼を届けます

へら鮎釣りの聖地に小さな太公望が集結

8月6日(土)／ジュニアへら鮎釣り大会(前山の池)

初めて開催したジュニア大会に小中学生21名が参加し、難しいと言われるへらぶな釣りの腕前を競いました。親子で参加した小学生は、竿に伝わる魚の感触を楽しみながら、網を持った母親との連携プレーで見事に釣り上げました。



釣り上げると「やった!」と満面の笑みがこぼれました

ひとまち写真館

あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

異国の地を思わせる神秘的な音色

8月14日(日)／インド古典音楽&フュージョンコンサート(水野公民館)

東大寺の奉納公演にインド政府から派遣された音楽家による演奏会。バイオリンを中心に、北インドの打楽器「タブラ」などが織りなす独特な音色が、来場者の心を魅了しました。演奏後は音楽家と来場者が歓談するなどして、音楽を通じた交流が図られました。



たたいたり、こすったり、タブラが奏でる音は8種類

未来のエジソンを育てます

8月20日(土)／子ども「ものづくり」体験教室(奥富公民館)

さやま市民大学「子どもたちのものづくり指導員養成講座」の受講生が、「ピンホールカメラ」などの理科工作教室を開催。25名の小学生がカメラの仕組みや割り箸をこすると動き出すプロペラに目を輝かせている姿に、先生が教える言葉にも力が入りました。



カメラを覗くと何が見えるかな?